

プロロジス、埼玉県東松山市に 「プロロジスパーク東松山」の開発を決定



「プロロジスパーク東松山」完成イメージ

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、埼玉県東松山市において賃貸用物流施設「プロロジスパーク東松山」を開発することを発表しました。

同施設は、埼玉県内で運営中の「プロロジスパーク川島」、「プロロジスパーク川島2」および今年12月に竣工する「プロロジスパーク吉見」に続いて、圏央道沿線の物流拠点として開発されます。開発予定地は、東松山都市計画事業藤曲土地区画整理事業の区域内であり、新たに工業系の土地利用が図られる場所です。

■ 開発予定地

開発予定地は国道407号に面しており、関越自動車道 東松山インターチェンジからわずか3km、圏央道 川島インターチェンジからも約8kmの地点に立地しています。関越自動車道や国道254号および国道407号を利用して、都内から上信越方面へもアクセスし



やすく、圏央道を利用して関東全域への配送にも適した立地です。2015年11月に予定されている桶川北本インターチェンジ～白岡菖蒲インターチェンジの開通によって、東北自動車道へのアクセスも向上し、広域配送の拠点として活用性の高い物流適地です。

また、東武東上線の東松山駅から約1.5kmと近く、周辺には住宅地が広がっているため雇用確保の面からも有利です。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク東松山」は、約31,000平方メートルの敷地に地上4階建、延床面積約70,000平方メートルの施設を想定して計画中です。各階に大型車両がアクセス可能なランプウェイを設け、効率的なオペレーションを可能とします。また、事業継続性や環境に配慮した施設設計とする予定であり、停電・断水対策、LED照明の採用、高断熱外装材の採用、太陽光発電の導入などを検討しています。

■ 圏央道沿線のプロロジスパーク

プロロジスは圏央道沿線において、「プロロジスパーク川島」「プロロジスパーク川島2」「プロロジスパーク北本」「プロロジスパーク常総」を運営中です。また、2015年12月に竣工予定の「プロロジスパーク吉見」を開発中であり、「プロロジスパーク古河1」「プロロジスパーク古河2」を計画しています。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

「プロロジスパーク東松山」計画概要

名 称	プロロジスパーク東松山
所 在 地	埼玉県東松山市
計画敷地面積	約31,000㎡（約9,400坪）
計画延床面積	約70,000㎡（約21,200坪）
構 造	地上4階建（予定）
着工予定	2016年末頃
竣工予定	2017年

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do